

令和2年度厚生労働科学研究費 労働安全衛生総合研究事業

医療機関における治療と仕事の両立支援の推進に資する研究
(20JA1006)

分担報告書

手術を含む集学的療法の際の就業上の留意点の整理

研究分担者 田中 文啓

令和2年度 厚生労働科学研究費補助金(労働安全衛生総合研究事業)

分担研究報告書

医療機関における治療と仕事の両立支援の推進に資する研究
手術を含む集学的療法の際の就業上の留意点の整理

研究分担者 田中文啓 (産業医科大学 第2外科学講座 教授)

研究要旨

「病気の治療と仕事の両立支援(両立支援)」のためには、企業や産業医側の体制整備に加え、実際に保険診療を行う医療機関側の取り組みも非常に重要である。

極めて予後不良で難治性がんの代表である悪性胸膜中皮腫に対しては、従来「胸膜肺全摘術(患側の肺と胸膜を一塊に摘出する)」という非常に侵襲の高い手術に加え、化学療法や放射線療法を行う集学的治療が行われてきた。しかし、近年「胸膜切除/肺剥皮術」という肺を温存する低侵襲な手術が行われるようになり、術後にADLを保つことで、術後の化学療法を行いながらも仕事との両立を行えた症例を経験した。

しかし、実際に手術を含む集学的治療を行った患者において、治療と仕事の両立が可能であった症例は非常に少なく、悪性胸膜中皮腫における両立支援に関しては解決すべき課題が多い。

本研究では、これまで実際に手術を含む集学的治療を施行した症例において、両立支援により治療と仕事の両立が行えた症例と行えなかった症例に関して情報収集し、悪性胸膜中皮腫において両立支援をさらに進めていくための課題や実際に就業する上での留意点などを整理することで、多くの患者に両立支援を行うことができる体制づくりに有用な情報を得る。また、両立支援が進まない理由として、医療スタッフの両立支援に関する関心の低さも懸念されるため、これまで悪性胸膜中皮腫に対して手術を含む集学的治療を行いながら仕事との両立を行った症例を示すことにより、一般的に就労が難しい疾患であったとしても就労継続できることを示し、医療スタッフの両立支援に関する関心を高める。

研究協力者

黒田耕志 (産業医科大学 第2外科学講座 准教授)
金山雅俊 (産業医科大学 第2外科学講座 助教)
森将鷹 (産業医科大学 第2外科学講座 助教)

A. 目的

「病気の治療と仕事の両立支援(両立支援)」のためには、企業や産業医側の体制整備に加え、実際に保険診療を行う医療機関側の取り組みも非常に重要である。しかし、悪性胸膜中皮腫は非常に予後が不良であること、手術を含む治療の侵襲が大きいこともあり、両立支援の取り組みはほとんどなされていなかった。近年、より低侵襲な手術「胸膜切除/肺剥皮術」が行われるようになり、これまで両立支援が困難と考えられていた悪性胸膜中皮腫において、治療と仕事の両立を実現した症例を経験した。しかし、現実としてそのような症例は極めて少なく、改善するために取り組む課題は多い。

本研究の目的としては、これまで両立支援が行えた症例と行えなかった症例に関して情報収集し、悪性胸膜中皮腫における両立支援への課題や就業する上での留意点を整理することで、両立支援を行うことができる症例を増やすことに役立つ。また、両立支援が進まない理由として、医療スタッフの両立支援に関する関心の低さも懸念されるため、悪性胸膜中皮腫に対して手術を含む集学的治療を行いながら仕事との両立を行った症例を示すことにより、一般的に就労が難しい疾患であったとしても就労継続できることを示し、医療スタッフの両立支援に関する関心を高める。

B. 方法

これまで悪性胸膜中皮腫において手術を含め集学的治療を行った症例で両立支援が進まなかった原因を整理し、改善すべき課題を提起する。また、医療側の両立支援に関する関心の低さを改善するために、実際に仕事と治療を両立した経験を共有することにより、悪性胸膜中皮腫を始めとした疾患における両立支援の意識改革を行う。

さらに、実際に治療を受ける患者の中には、治療と仕事の両立に関しての情報が少なく、職場への復帰を諦める方も多いため、診療科のホームページを改変し、両立支援に関する取り組みなどを紹介する動画を示すことにより、治療を受ける患者においても治療と仕事の両立に関心を示してもらおう。

C. 結果

現時点では、これまでの症例情報を蓄積することで、悪性胸膜中皮腫における両立支援の課題を検索している。また、両立支援に関する意識改革として、実際に治療と仕事の両立を実現した症例の情報を共有することで、実際両立支援を行っていく流れについて確認を行った。

さらに、当診療科における両立支援に関する取り組みを提示するために、現在、ホームページを更新しており、情報提供できる体制を整えている。

D. 結論

悪性胸膜中皮腫における両立支援

は非常に課題が多い。しかし、一般的に就労が難しいとされていた悪性胸膜中皮腫における両立支援の課題を整理することは、今後多くの患者において両立支援を進めていく上で有用な情報になると考える。

F.引用・参考文献

なし

G.学会発表

なし

H. 論文業績

Tanaka F, Takenaka M, Imanishi N, Hirai A, Kanayama M, Mori M, Matsumiya H, Taira A, Shinohara S, Kuroda K. Non-incisional pleurectomy/decortication for malignant pleural mesothelioma. 2021, Gen Thorac Cardiovasc Surg. In press.

I. 研究に関連した実務活動

なし

H. 知的所有権の取得状況

なし